

# 令和 6 年度 学校評価シート

学校名： 和歌山商業高等学校

校長名： 西上 嘉人

## 目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・ 健やかな心身と正しく強い意志をもった生徒
- ・ 高いコミュニケーション能力と他者を尊重し協働できる力を備えた生徒
- ・ 地域経済に貢献できる専門的知識と技術を身につけた生徒
- ・ 希望の進路に対応できる学力と社会人としての教養を身につけた生徒

## 学校評価の公表方法

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

## 自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（〇月〇日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	主体的に学習に取り組む態度と知識・技能を着実に育てる。	B	主体的に学習に取り組む態度の育成を目的とした公開授業を実施し、授業改善を図る。 予習や復習の宿題を意図的に課すことによって、家庭学習の時間を確保する。	項目を生徒の主体的な取組の自己評価とし、指標をその評価結果とする。 項目を家庭学習に対する取組状況等とし、指標を家庭学習の時間とする。			
2	商業高校の利点も生かしながら、生徒の希望進路の実現を図る。	B	進路 LHR（企業や大学等と連携を含む）で進路意識を育てる。 進学・就職に関する情報提供や補習、個別指導等を実施する。 連携協定を結ぶ大学との交流を深め、進学意識を醸成させる。	①全商簿記1級、全商情報処理1級、全商英検1・2級の合格率が、本校過去5年間の合格率の平均以上であったか。 ②大学、短大等の合格率が前年よりも上がったか。 ③就職内定率が100%であったか。			
3	各種特別活動を通して、他者を尊重し協働できる力を育てる。	B	学校行事を通して、生徒相互の連帯感や思いやり、自主性、自立性を養う。 部活動への積極的な参加を働きかけ、人間関係形成能力を育てる。	項目を生徒記入用の学校評価に係るアンケートの項目とし、指標をその評価結果とする。 項目を部活動の加入率とし、指標を加入率の前年度比とする。			
4	学校生活全般を通し、健やかな心身と正しく強い意志を育てる。	B	学校の諸活動で「時を守り 場を清め 礼を正す」ことを徹底させる。 学校運営協議会で現状に係る協議を行い、協働した指導を実施する。	①授業遅刻者数の半減 ②挨拶・身だしなみの改善 ③清掃状況の改善 ①同協議会での協議の有無 ②同協議会での提案の有無 ③同協議会との協働の有無			

## 学校関係者評価（〇月〇日実施）

--